

春播えんばくの品種比較試験

富山県農業試験所城端分場より、青刈えんばくの試験成績資料が寄せられましたので、ここにその概要を御知らせいたします。(編集部)

一 目的

最近、青刈飼料用としてえんばくの栽培面積が急増しているが、現在利用されている品種はほとんど採実用改良種であるので、青刈用として生草収量の多い品種を知ろうとする。

二 供試品種

実取用品種……前進、ビクトリー
青刈用品種……太豊、豊葉(以上雪印種苗育成新品種)、改良一〇号(雪印種苗育成種)、二三八四—S—一、四三〇—S—二—三

三 耕種概要

- (1) 播種期 昭和三十七年四月十一日
- (2) 播種方法及び量 畦幅四五号、条播、一〇坪当り八号
- (3) 施肥量 (一〇坪当りキ) 厩肥三、八〇〇、硫酸二二三、過石三〇〇、塩加一二、石灰二五〇(追肥硫酸一五)

四 試験経過

以上の考察から、今後青刈用には中生型より、晩生型の豊葉、太豊がとくに有利と思われる。

今春は融雪が平年より二週間遅れ、播種期もそれにつれて遅くなったが、その後、天候順調で生育も概ね良好であった。なお刈取は出穂期とした。

五 試験成績

特性調査並びに収量調査は第一表、第二表の通りである。

六 考察

草丈 前進、ビクトリーに比し、他の各品種ともに長かった。
有効莖数 ビクトリーを除く各品種とも前進に対し五〇%以上多く、分けつ型の品種と言いうる。
稈の太さ 前進、ビクトリーに比べて、いずれも細かった。尚、倒伏は稈の細い品種程多かった。
生草収量 前進、ビクトリーに比べて、いずれも多く、とくに豊葉(二八%)、太豊(二二%)が多かった。
一日の生育量 生育日数はそれぞれ異つたが、一日当りの生育量は太豊が最も多く、ついで二三八四—S—一、一、豊葉で、いずれも前進より多かつた。

第一表 特性調査

品種名	茎の太さ	分けつ	早晚性	倒伏	草型	三〇日間の有効莖数	銹病
前進	太	少	中	少	極直立	五六	少
ビクトリー	太	少	中	少	極直立	五三	少
豊葉	中	多	晩	甚	稍直立	七九	少
太豊	細	多	晩	甚	匍匐	八二	少
改良一〇一	細	多	晩	甚	匍匐	八五	少
四三〇—S—二—三	細	多	晩	甚	匍匐	七一	少

第二表 収量調査

品種名	生育期(月)	刈取日	草丈(寸)	生草重(当り)	同標準比(%)	一日生育量(キ)	生草率(%)	乾燥物重(当り)	同標準比(%)
前進	四・二	六・九	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇
ビクトリー	四・〇	六・三	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇
豊葉	四・三	六・三	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇
太豊	四・三	六・三	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇
改良一〇一	四・三	六・三	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇
二三八四—S—一	四・三	六・三	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇
四三〇—S—二—三	四・三	六・三	三三	三・六	一〇〇	三・七	一六〇	五・六	一〇〇

飼料作物カラスライド

講義会指導用、学校教材用、研究用 (各編共送料込)

- ※基礎編 一組(三枚入) 二,〇〇〇円
- ※種類・品種編 一組(三枚入) 二,〇〇〇円
- ※栽培編 一組(三枚入) 二,〇〇〇円
- ※利用・貯蔵編 一組(三枚入) 二,〇〇〇円
- 1 各編毎に分り易い解説書が付いております。
- 2 とくにサーピス価格になっておりますので、雪たね同友会員の割引はいたしかねます。
- 3 詳細は御一報戴ければ御連絡申上げます。

良書御案内

- 飼料作物栽培の手引 B6判 一三〇頁 送料共 一〇〇円
- 草地改良—着眼と事例 B6判 一五〇頁 送料共 一五〇円
- 飼料作物と牧草のとり入れ方 B6判 八五頁 送料共 六〇円
- 草地と酪農(帯広畜大教授 大原久友編) B5判 五〇〇頁 頒価送料共 一,〇〇〇円
- 西南暖地向 飼料作物の便覧 B5判 四〇頁 送料共 五〇円
- 飼料作物種子見本帳 送料共 二〇〇円